

令和8年度

第3回 京都市桃陽病院の今後の在り方に関する検討会 資料編 ＜収支計画（概算費用の算出）について＞

令和8年6月18日（木）

1. 収支計画（概算費用の算出）の前提条件

（1）収支計画は看護師数をもとに算出（固定事項）

- 現在、**桃陽病院の看護師は16.5人**（常勤換算）で、入院患者9.5人/日（令和7年度実績）に対応しています。
- なお、第1回、2回の検討会においても「**病床の適正化**」については言及されており、100床～60床の整備等は整備費用も大きく、現実的ではないと考えられます。
- **看護師の必要人数と病床数の計算は、以下のとおりです。**

【入院患者数1日40人の場合】

- ①医療法等における15対1の計算式は、24時間体制（3倍）を考慮するため、1日あたりに必要な配置数は以下の式で算出。

$$1日平均患者数40人 \div 15 \times 3 = 7.9999... \div 8人$$

- ②様式9号では、この1日平均配置数を維持するために、1か月（30日と仮定）で合計何時間の労働時間が必要かを算出。

$$1日必要な配置数(8.0人) \times 30日 \times 8時間 = 1,920時間$$

- ③勤務条件（1日8時間、月20日勤務）の場合、常勤1人あたりの月間労働時間は 160時間。これを基に、必要な看護師数（常勤換算数）を逆算。

$$月間必要総労働時間(1,920時間) \div 常勤1人の月間労働時間(160時間) = 12.0人$$

- ④12.0人は最低必要な看護師数であり、管理業務や研修、外来対応、有給取得等の看護勤務の実情に応じた人数は、以下のとおり。

$$12.0人 \times 1.3 \sim 1.5倍の人数を確保 = 15.6人 \sim 18人$$

- 看護師の配置転換は前提とせず、**医療安全及び職員の労働安全衛生の確保を優先条件**とした。そのうえで、看護師16.5人で対応可能な40床を収支計画（概算費用算出）の基準とした。
- さらに、**患者数（令和7年度平均9.5人/日）が仮に2倍**となるケースを想定し、20床規模での検証も併せて実施する。

2. 整備（概算）費用の算出条件

（1）新築（敷地内建替え）の場合

- 新築における新病院整備に関する主な費用（イニシャルコスト）は、以下のとおりです。

新築			算出根拠
病床数	40床	20床	
建設費用	3,520,000千円	1,760,000千円	1床あたり70～80㎡で整備されることが一般的（試算は80㎡で実施） ㎡単価1,100千円を想定
設計費用	176,000千円	88,000千円	建設費用の5%を想定
現病院の解体費用	137,130千円	137,130千円	解体面積は4,571㎡（現病院面積）と解体費用は㎡単価30千円を想定
医療機器整備費用 什器・備品 医療情報システム	214,000千円	182,000千円	他事例を踏まえ、一般的な価格設定
各種事務費用	76,663千円	39,703千円	建設費用、設計費用、現病院の解体費用の合計値の2%を想定
合計	4,123,793千円	2,206,833千円	—
備考	- 基本構想や基本計画、新病院整備に関する準備費用は上記に含まれていません。 - 各費用については、他事例を参考に算出しておりますが、現在の物価高騰を踏まえると、さらに増加する見込みがございます。		

2. 整備（概算）費用の算出条件

（2）改修の場合

- 個室確保や男女別のゾーニング等の運用改善を踏まえた改修（20床を想定）を実施した場合の改修費用は、以下のとおりです。

改修		算出根拠
病床数	20床を想定	
改修費用	2,207,793千円	- 改修面積は4,571㎡（現病院面積） - 改修費用は㎡単価483千円を想定（第2回検討会資料より）
設計費用	110,390千円	改修費用の5%を想定
医療機器整備費用 什器・備品 医療情報システム	182,000千円	他事例を踏まえ、一般的な価格設定
各種事務費用	46,364千円	改修費用、設計費用の合計値の2%を想定
合計	2,546,546千円	—
備考	- 基本構想や基本計画、新病院整備に関する準備費用は上記に含まれていません。 - 各費用については、他事例を参考に算出しておりますが、現在の物価高騰を踏まえると、さらに増加する見込みがございます。	

3. 収支計画の算出条件

(1) 条件の設定

- 各項目や金額の設定は、以下のとおりで収支計画を作成しています。

項目		備考
収益	医業収益	
	入院収益	・ 令和6年度平均入院診療単価（21千円）×延べ患者数
	外来収益	・ 令和6年度実績で固定
	その他収益	・ 令和6年度実績で固定
	医業外収益	・ 令和6年度実績で固定
費用	営業費用	
	人件費	・ 令和6年度実績で固定（人員の配置転換を行わない）
	材料費	・ 令和6年度の材料費額より患者数に応じて増減
	教育研究費	・ 令和6年度実績で固定
	経費	・ 令和6年度の経費額より患者数に応じて増減
	負担金補助及び交付金	・ 令和6年度実績で固定
	新病院整備に関する増加分	
	減価償却	・ 定額法、一般的な法定耐用年数（建物39年、設備15年、医療機器6年等）を採用 ・ 建設費用や改修費用のうち、60%を建物、40%を設備と仮定し試算
	償還金額	・ 建設や改修に係る費用を全て公費で負担（金融機関等から融資を受けない）を想定し償還金額を0円と設定
	償還利息	・ 建設や改修に係る費用を全て公費で負担（金融機関等から融資を受けない）を想定し償還利息を0円と設定
	医業外費用	・ 令和6年度実績で固定

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動を加味していません。

4. 収支計画について（新築の場合）

（1）40床で整備 1日40名入院（病床利用率100%）の場合

- 1日の入院患者数が40名（令和7年度の約4倍）の場合でも、年間約2.1億円、30年間で約64.4億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 40 床	312,209	312,209	312,209	312,209	312,209	9,366,280
入院 312,209 千円(R6実績)	312,209	312,209	312,209	312,209	312,209	9,366,280
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778 千円(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861 千円(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701 千円(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	326,550	326,550	326,550	326,550	326,550	9,796,491
【医業費用】						
⑤ 営業費用	541,269	541,269	541,269	541,269	541,269	16,238,059
人件費 291,173 千円(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 41,599 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	41,599	41,599	41,599	41,599	41,599	1,247,984
教育研究費 284 千円(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 207,747 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	207,747	207,747	207,747	207,747	207,747	6,232,422
負担金補助金及び交付金 464 千円(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
減価償却	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0 千円(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	680,145	680,145	680,145	680,145	680,145	18,962,745
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 354,296	△ 354,296	△ 354,296	△ 354,296	△ 354,296	△ 9,187,296
経常利益(A)-(B)	△ 353,595	△ 353,595	△ 353,595	△ 353,595	△ 353,595	△ 9,166,254
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 214,719	△ 214,719	△ 214,719	△ 214,719	△ 214,719	△ 6,441,568

4. 収支計画について（新築の場合）

（2）40床で整備 1日20名入院（病床利用率50%）の場合

- 1日の入院患者数が20名（令和7年度の約2倍）の場合、年間約2.5億円、30年間で約73.8億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 40 床	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
入院 156,105 千円(R6実績)	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778 千円(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861 千円(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701 千円(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	170,445	170,445	170,445	170,445	170,445	5,113,351
【医業費用】						
⑤ 営業費用	416,595	416,595	416,595	416,595	416,595	12,497,856
人件費 291,173 千円(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 20,800 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	623,992
教育研究費 284 千円(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 103,874 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	103,874	103,874	103,874	103,874	103,874	3,116,211
負担金補助金及び交付金 464 千円(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
減価償却	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0 千円(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	555,471	555,471	555,471	555,471	555,471	15,222,542
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 385,728	△ 385,728	△ 385,728	△ 385,728	△ 385,728	△ 10,130,233
経常利益(A)-(B)	△ 385,026	△ 385,026	△ 385,026	△ 385,026	△ 385,026	△ 10,109,191
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 7,384,505

4. 収支計画について（新築の場合）

（3）40床で整備 1日10名入院（病床利用率25%）の場合

- 1日の入院患者数が10名（令和7年度と同等数）の場合、年間約2.6億円、30年間で約78.6億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 40 床	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
入院 78,052 千円(R6実績)	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778 千円(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861 千円(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701 千円(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	92,393	92,393	92,393	92,393	92,393	2,771,781
【医業費用】						
⑤ 営業費用	354,258	354,258	354,258	354,258	354,258	10,627,755
人件費 291,173 千円(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 10,400 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	311,996
教育研究費 284 千円(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 51,937 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	51,937	51,937	51,937	51,937	51,937	1,558,106
負担金補助金及び交付金 464 千円(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
減価償却	138,876	138,876	138,876	138,876	138,876	2,724,686
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0 千円(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	493,134	493,134	493,134	493,134	493,134	13,352,441
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 401,443	△ 401,443	△ 401,443	△ 401,443	△ 401,443	△ 10,601,701
経常利益(A)-(B)	△ 400,742	△ 400,742	△ 400,742	△ 400,742	△ 400,742	△ 10,580,659
公的資金投入額＝経常利益+減価償却費	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 7,855,973

4. 収支計画について（新築の場合）

（４）20床で整備 1日20名入院（病床利用率100%）の場合

- 1日の入院患者数が20名（令和7年度の約2倍）の場合でも、年間約2.5億円、30年間で約73.8億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 20 床	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
入院 156,105 千円(R6実績)	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778 千円(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861 千円(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701 千円(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	170,445	170,445	170,445	170,445	170,445	5,113,351
【医業費用】						
⑤ 営業費用	416,595	416,595	416,595	416,595	416,595	12,497,856
人件費 291,173 千円(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 20,800 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	623,992
教育研究費 284 千円(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 103,874 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	103,874	103,874	103,874	103,874	103,874	3,116,211
負担金補助金及び交付金 464 千円(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
減価償却	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0 千円(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	498,988	498,988	498,988	498,988	498,988	13,924,972
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 329,245	△ 8,832,663
経常利益(A)-(B)	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 328,543	△ 8,811,621
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 7,384,505

■ 収支計画については、超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していません。

4. 収支計画について（新築の場合）

（5）20床で整備 1日10名入院（病床利用率50%）の場合

- 1日の入院患者数が10名（令和7年度と同等数）の場合、年間約2.6億円、30年間で約78.6億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 20 床	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
入院 78,052 千円(R6実績)	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778 千円(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861 千円(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701 千円(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	92,393	92,393	92,393	92,393	92,393	2,771,781
【医業費用】						
⑤ 営業費用	354,258	354,258	354,258	354,258	354,258	10,627,755
人件費 291,173 千円(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 10,400 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	311,996
教育研究費 284 千円(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 51,937 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	51,937	51,937	51,937	51,937	51,937	1,558,106
負担金補助金及び交付金 464 千円(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
減価償却	82,393	82,393	82,393	82,393	82,393	1,427,116
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0 千円(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	436,651	436,651	436,651	436,651	436,651	12,054,871
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 344,960	△ 344,960	△ 344,960	△ 344,960	△ 344,960	△ 9,304,131
経常利益(A)-(B)	△ 344,259	△ 344,259	△ 344,259	△ 344,259	△ 344,259	△ 9,283,089
公的資金投入額=経常利益+減価償却費	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 7,855,973

5. 収支計画について（改修の場合）

（1）20床へ改修 1日20名入院（病床利用率100%）の場合

- 1日の入院患者数が20名（令和7年度の約2倍）の場合でも、年間約2.5億円、30年間で約73.8億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 20 床	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
入院 156,105 千円(R6実績)	156,105	156,105	156,105	156,105	156,105	4,683,140
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778 千円(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861 千円(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701 千円(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	170,445	170,445	170,445	170,445	170,445	5,113,351
【医業費用】						
⑤ 営業費用	416,595	416,595	416,595	416,595	416,595	12,497,856
人件費 291,173 千円(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 20,800 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	623,992
教育研究費 284 千円(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 103,874 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	103,874	103,874	103,874	103,874	103,874	3,116,211
負担金補助金及び交付金 464 千円(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	95,619	95,619	95,619	95,619	95,619	1,749,853
減価償却	95,619	95,619	95,619	95,619	95,619	1,749,853
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0 千円(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	512,214	512,214	512,214	512,214	512,214	14,247,709
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 342,471	△ 342,471	△ 342,471	△ 342,471	△ 342,471	△ 9,155,400
経常利益(A)-(B)	△ 341,769	△ 341,769	△ 341,769	△ 341,769	△ 341,769	△ 9,134,358
公的資金投入額=経常利益+減価償却費-債務償還予定額	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 246,150	△ 7,384,505

5. 収支計画について（改修の場合）

（2）20床へ改修 1日10名入院（病床利用率50%）の場合

- 1日の入院患者数が10名（令和7年度と同等数）の場合、年間約2.6億円、30年間で約78.6億円の公金投入が予想されます。

区 分	1期 (開院)	2期	3期	4期	5期	30期合計
【医業収益】						
① 入院収益 20 床	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
入院 78,052 千円(R6実績)	78,052	78,052	78,052	78,052	78,052	2,341,570
② 外来収益	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
外来 12,778 千円(R6実績)	12,778	12,778	12,778	12,778	12,778	383,348
③ その他収益	861	861	861	861	861	25,821
その他 861 千円(R6実績)	861	861	861	861	861	25,821
④ 医業外収益 701 千円(R6実績)	701	701	701	701	701	21,042
収入合計 ①+②+③+④=(A)	92,393	92,393	92,393	92,393	92,393	2,771,781
【医業費用】						
⑤ 営業費用	354,258	354,258	354,258	354,258	354,258	10,627,755
人件費 291,173 千円(R6実績・固定)	291,173	291,173	291,173	291,173	291,173	8,735,201
材料費 10,400 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	311,996
教育研究費 284 千円(R6実績・固定)	284	284	284	284	284	8,533
経費 51,937 千円(R6実績・患者数に応じて変動)	51,937	51,937	51,937	51,937	51,937	1,558,106
負担金補助金及び交付金 464 千円(R6実績・固定)	464	464	464	464	464	13,920
⑥ 新病院整備に関する増加分	95,619	95,619	95,619	95,619	95,619	1,749,853
減価償却	95,619	95,619	95,619	95,619	95,619	1,749,853
償還元金	0	0	0	0	0	0
償還利息	0	0	0	0	0	0
⑦ 医業外費用 0 千円(R6実績)	0	0	0	0	0	0
支出合計 ⑤+⑥+⑦=(B)	449,877	449,877	449,877	449,877	449,877	12,377,608
医業損益(①+②+③)-(⑤+⑥)	△ 358,186	△ 358,186	△ 358,186	△ 358,186	△ 358,186	△ 9,626,868
経常利益(A)-(B)	△ 357,485	△ 357,485	△ 357,485	△ 357,485	△ 357,485	△ 9,605,826
公的資金投入額＝経常利益+減価償却費-債務償還予定額	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 261,866	△ 7,855,973

6. まとめ

- 収支計画（概算費用）の算出根拠は以下のとおりです。
 - 現在、桃陽病院に所属する看護師16.5人の配置転換は行わない。
 - 現在、主に算定している小児入院医療管理料5（患者：看護師＝15対1以上）の基準に基づき、1日あたり約40人の患者の受入れが可能。
 - なお、40人の患者受入れの算出には、医療安全と職員の労働安全衛生を優先し、ゆとりのある看護師配置とした。
 - 新築においては、40床と20床で算出。
 - 改修は、現病院の運用課題（個室の確保や男女別のゾーニング等、患者の利便性を優先した面積の確保等）の改善を踏まえ、20床で算出。
 - 超概算で作成しており、診療報酬改定や人件費の上昇、物価変動、現病院の各種費用（減価償却や償還等）等は加味していない。
 - ただし、土地取得は0円、新病院整備に関する費用（イニシャルコスト）は、京都市が負担（償還金額0円）する想定で試算しているため、それらの費用が発生するとさらに収支は悪化する。
 - 新築や改修の区分及び病床数の規模ごとに試算した結果、仮に入院患者数が令和7年度実績の**約2倍にあたる20人/日まで増加した場合**においても、現行水準と同程度となる年間2.5億円規模の公金投入が見込まれます。
 - 加えて、物価高騰や人件費の上昇が進行した際には、当該金額がさらに拡大する可能性も否定できません。
- 
- 新築や改修等の整備手法にかかわらず、桃陽病院を医療機関として継続する場合には、毎年**2.5億円の公金投入が必要**となる。
 - この公的負担については、市民の理解を得るために、明確な理由等を示す必要がある。